

---

# 朱色のキャンドル

FILD

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

朱色のキャンドル

### 【Nコード】

N6440T

### 【作者名】

FIELD

### 【あらすじ】

無口で強気な彼女、怜と偶然出会ったフリーターとの日常の話

## 邂逅

怜は疲れていた。学校に向かうのが非常に億劫で仕方ない。中学までは清楚で友人との付き合いも不自由なかった。

だが、高校に入学してからは自ら友人を作ることもなく条件反射で怠惰な生活を送っていた。

そんな彼女に唐突な変化が現れた。

西暦2015年、日本、山梨県。13日の土曜日。怜は独りで街を歩いていた。怜は一人っ子。中学の頃の友人とは疎遠になり、高校では友人を作ろうともしなかった。そんな環境でも彼女は気にかけなかった。孤独を愛する部分が心の中に多少含まれていたのだろう。

怜は歩きながらデジタルオーディオプレイヤーで好きなアーティストの曲を聴いていた。そこら辺で座りながら携帯を操作していると稀に中年の男性に声をかけられる。

『ねえ、君暇なの？一人なの？良かったらおじさんと美味しいもの食べにいかない？』

…そんな訳で怜は容姿が美しい。それを避けるために常に歩きながら耳にDAPのイヤホンを差し込んでいる。

休日は家にこもっていると暇で仕方ない。怜は三人家族。父は朝早く仕事に向かい、帰りも遅い。母もしかり。幼い頃から周りが大人だけだった彼女はやけにクールな雰囲気放っている。

怜は今日、映画を観るために映画館に足を運んでいる。タイトルは

『人類からの脱却』。胡散臭い名前だが、彼女はB級映画に興味を持っていて。粗末な表現の粗を探す意味合いもある。

街外れにある小さな映画館に着くとチケットを購入し、指定の席を選択した。座席はもちろん最後方。それなりに観客はいた。席沿いに座ると怜はスクリーンを眺めていた。誰かが隣に座ったようだが彼女は気にもしなかった。退屈な他の映画の広告がスクリーンに映し出されている。

『場内での撮影行為は違法です』

『違法行為を行った場合は蜂の巣にされます』

お約束の盗撮警告だ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6440t/>

---

朱色のキャンドル

2011年10月9日04時56分発行